キャラクター名：三徒　早弥乃（みかち　さやの）

プレイヤー名：

シンドローム	モルフェウス	ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	帰国子女高校生
	オルクス				
オプショナル	エグザイル	年齢		性別	女
覚醒	忘却	衝動	嫌悪	初期侵食率	32 %
出自		経験	同居人(学園表)	邂逅	秘密

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	3	1	2			6
精神	1	0	0			1
社会	3	0	0			3

HP	23
行動値	13
(非装備時)	13
戦闘移動	18
全力移動	36

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	6		ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転：			芸術：「学園帰り」判定ﾀﾞｲｽ+1個			知識：			情報：UGN,「コネ：UGN幹部」判定ﾀﾞｲｽ+2個	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
12/123（骨の銃使用時）	射撃	7r+7	-	6		cost4/7
1234（骨の銃使用時）	射撃	7r+7	-	31		cost7

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲： 0　合計回避： 0

所持品	
エンブレム：コンバットフォーカス(UGp.31)	
エンブレム：学園帰り(HRp.96)	
エンブレム：ブレイクバレット(UGp.35)	
ウェポンケース	
コネ：手配師	
コネ：UGN幹部	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
奇跡の血(LMp.74)	P	N		
アカデミアの友達	P 幸福感	N 疎外感		
ローザ・バスカヴィル	P 信頼	N 憤懣		
剣菱ほのか	P 友情	N 嫉妬		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8　残り財産P： 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
骨の銃	1	3	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	-	
効果：武器作成：射撃,<射撃>,命中-1,攻撃力+[Lv+5],射程20m								
ｺﾝｾ：ｵﾙｸｽ	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	-	
効果：C値-Lv								
空間歪曲射撃	3	2	ﾒｼﾞｬｰ	視界	単体	射撃	-	
効果：射程：視界変更,G値-5,ｼﾅﾘｵLv回								
ギガンティックモード	1	3	ﾒｼﾞｬｰ	武器	範囲(選択)	白兵/射撃	-	
効果：対象：範囲(選択)変更,判定後装備武器破壊								
ウルトラボンバー	4	4	ﾒｼﾞｬｰ	至近	範囲	射撃	-	
効果：攻撃力+[(Lv*5)+5],ﾘｱｸｼｮﾝ不可,MP終了時HP0,自身対象不可,ｼｰﾝ1回								
万能器具	1	-	ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	自動/RC	-	
効果：ものづくり								
十徳指	1	-	ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	自動/知識:機械工学	-	
効果：ｶﾞﾁｬｶﾞﾁｬ								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

[PC①と同じ年齢]のUGNチルドレン。幼少期に覚醒し家族を失ったが、その詳細は覚えていない。
初等部～中等部まで学園島で育ち、高校入学前にある事情により日本に戻ってきた。正確な理由は本人にも分からないが、アカデミアのことについては上層部や関係者から固く口止めされている。
アカデミアでは物質創造系Aランク/スペシャリストとして環境委員会・物品修繕サークルに所属しており、校舎付近の山岳地帯に足を踏み入れたり、学園名物の桜の木と交流することが多かった。
帰国後もアカデミアでの知人とは個人的に連絡をとり続けてきたが、寮の同室で親しくしていた非オーヴァードの友人に最近彼氏が出来てからというもの心なしか連絡が少なくなってきているような気がして内心焦りを感じている。

屋外活動が多く物品修繕による小遣いがそれなりにあったアカデミア当時の癖で、放課後には何かと寄り道をしておりチルドレンの施設（or支部？）にはまっすぐ帰らない。
アカデミアでのびのびと育ってきたため基本的にのらりくらりとしているが、オーヴァードの存在が秘匿された世界を目の当たりにして言葉にならないような悩みが少しずつ増えてきている。